



だより

1・2年版

No.3 : H28.9.8

編集 : SGH 推進室

発行責任者 : 宮崎 栄治

PII(プリンストン in いしかわ)の大学生が来校しました!!

7月12日(火)6,7時間目「SG探究」の時間に、PII(石川県の主催する日本短期研修プログラム。プリンストン大学を始めとする米国大学生約20名が参加)が来校し、交流を行いました。SGコースで4月から進めている「課題研究」を英語で説明し、外国人の視点から意見をもらったり、議論をする時間を持ちました。お互いに相手の意見を理解しようとする真剣な表情と思いが通じたときの笑顔とに満ちた2時間でした。

スケジュール

【第1部】(主に日本語)

- 14:10~ アイスブレイク(human BINGO!!)
- 14:20~14:50 PII学生によるプレゼンテーションと質疑応答「石川・金沢のコミュニティとしての魅力や違和感について」
- 14:50~15:00 休憩 ~グループ対抗クイズ合戦~

【第2部】(主に英語)

- 15:00~15:50 泉丘生によるプレゼンテーション&グループディスカッション→まとめ・挨拶

人前で1分程度の短いプレゼンをするという経験をして、こういうことを当たり前に行えるプリンストンの大学生たちに対して尊敬の気持ちでいっぱいになりました。

アメリカ合衆国の成り立ちなどを聞いた。私が質問したりするとすぐに答えが返ってきて、なぜそんなに詳しいのか尋ねてたところ、「アメリカ人だから」と言われて、私は日本人だけれど、日本のことをそんなに詳しく知らないから、ちゃんと勉強しようと思った。

自分では英語が得意なつもりだったのに、自分の英語力がないせいで、深くレベルの高い話をするのができなかったのが、すごく悔しかったです。

留学生の方に課題研究について新たな切り口の提言をしていただけたのが嬉しかった。外国人ならではの考え方を解決策の1つにつけ加えられた。更に研究がおもしろくなりそうだ。

SG探究のテーマについて外部の人と意見を交流して、前回の京都大学思修館の際にはっきりとしていなかったテーマも今回ははっきりとしていたので、より自信を持って話すことができた。



北陸大学の留学生向け授業に参加してきました!!

7月26日(火)放課後、北陸大学の外国人留学生の講座「日本の社会II」にSGコースの9名が参加してきました。この授業は留学生達が進めている課題研究の発表「日本、金沢に対する提言」に対して日本の高校生が質問やコメントをするという内容で、積極的な質問や意見で議論に貢献している姿が印象的でした。またプレゼン終了後には、留学生とのフリートーキングの時間を設けていただき、高校生達が自分たちの課題研究に関することについてグループディスカッションを行いました。



国内フィールドワークに行ってきました!!

課題研究を進めるため、8月10・11日「加賀(白峰)コース」、8月18・19日「能登コース」の2つに分かれて、フィールドワーク(現地調査)を行いました。日中は工場見学や講義、インタビューを行い、夜はグループでまとめ作業という密度の濃い一泊二日を過ごし、課題研究が大きく一歩前進したようです。実際行ったからこそ分かる感動をたくさん味わった研修だったのではないのでしょうか。

泉谷珠洲市長(本校OB)が直々にレクチャー

【加賀(白峰)コース】

8月10日(水)

AM コマツ粟津工場見学・講義
PM *NPO 法人「薪の会」風さんによる講義・薪製造現場見学
*雪だるまカフェ見学・講義

11日(木)

～15時 各グループごとに調査活動
(山下ミツ商店インタビュー、元市役所職員インタビュー、白峰ジオパークに関する講義 etc...)



(戦争遺族会)戦争の記憶を伝え、平和をつないでいくことは本当に難しいことであるとわかった。しかし、同時に難しいからと言って、平和について考え、伝えていくことは絶対に途絶してはいけないと感じた。

(能登学舎にて)本当にご厚意に感謝しなければならないなと思いました。この2日間現地に実際に足を運ばなければわからないこともあるのだなと実感しました。

一番心に残ったのは、問題の解決策に正解がないということです。市長は多数決をとっていたら否定されていたであろう計画を実施して成功していました。私達も正解、不正解を考えずに、あらゆる方向から問題を解決するための案を出したいと思いました。

自分が将来働く時には、コマツ粟津工場で見たとおり、各工程での最善の方法を導くアイデアを大事にしていきたいと思いました。

都会で高い家賃で暮らすよりもこんなにステキな自然の中で美味しい空気を吸いながら白峰で暮らしてみたい!!と思いました。本当にきれいな場所で一瞬で好きになりました。

「まちづくり」に大切なことは、その町にとって何が有益か、町についてとことん知ることが大切だと感じました。

【能登コース】

8月18日(木)

AM グループで研究について話し合う
PM *泉谷珠洲市長(本校OB)による講義
*各グループごとに調査活動
(街頭・外国人宅インタビューetc...)

19日(金)

～14時 各グループごとに調査
(能登学舎・鈴鈴堂・遺族会インタビュー、珠洲市浄化センターバイオマスメタン発酵施設見学 etc...)



お知らせ!!

グローバルリーダー養成講座第2弾

「京都大学出前講座～アフリカ農村で援助について考える～」

9月16日(金) 放課後 15:20～16:20

講師：原 将也氏(京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 博士後期課程)

講師の先生が実際に見てきた援助を踏まえ、「貧しい」と言われている人々にとって本当に必要な、有用な援助とはなにか、ディスカッションを通して考えてみましょう。※参加申し込みはSGH推進室まで!!(9/9(金)締め切り)

SG 探究基礎「統計学特別講義」

9月10日(土) 11:00～12:00 講師：渡辺美智子氏(慶応大学大学院 教授)

たとえばテレビ番組。「～な人は何%!!」「～%の人がこう答えています」なんてフレーズを聞いたことはありますよね。その時「それって、どれほどの信憑性があるの?」と思ったことはありませんか?

今回の講義で、統計を通して新しい世界が見えてくるかもしれません。